

わかりやすい  
  
**尼崎市**  
**障害者計画・障害福祉計画**



この冊子は、障害のある人が自分らしく安心して地域で暮らしていくために「必要なこと」や「支援してほしいこと」について、尼崎市がその取組を進めていくため、『障害のある人の暮らしを支えること（尼崎市障害者計画（第4期）：2021年度から6年間）』と『必要な福祉サービスのこと（尼崎市障害福祉計画（第6期）：2021年度から3年間）』をまとめた計画です。

### フレーム案についての説明

- ▶ 尼崎市障害者計画（第4期：R3～8）の各基本施策に掲げる主な取組ごとに、「これまでの成果・課題（Do・Check）」と「今後の施策展開イメージ」を記載。
- ▶ 上記の内容に対する外部（評価）意見を聴取し「R4年度 施策評価表」の作成に向けた参考とする。
- ▶ 本日お示ししている内容はたたき台。今後、庁内の関係所属と協議し、次回の会議において正式に提示する。
- ▶ 次回の会議以降で回答いただく外部（評価）意見については、このフレーム案に記載のない取組内容に対する意見でも可（幅広い聴取）とする。
- ▶ なお、聴取した意見は、現在見直しを検討している「評価・管理シート」にも活用していくこととする。

# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策1

### 健康に暮らす

保健

医療



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 「尼崎総合医療センター（AGMC）」や「障害児者リハビリテーションセンター（あまりハ）」など兵庫県立の専門機関や地域の医療機関（訪問看護ステーションなど）、精神障害や難病等の団体と連携して、医療や相談支援の体制を充実します。

### これまでの成果・課題（Do・Check）

- ▶ AGMC等を退院する医療的ケア児の病院内カンファレンスに本市の医療的ケア児等コーディネーターが参画するほか、本市の指定事業所ネットワーク会議に「あまりハ」を招き、事業紹介を行ってもらうなど、地域の医療機関との連携を進めている。
- ▶ 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進会議」をこれまで計●回開催して、当事者・家族等が抱える悩みや支援状況、地域課題の理解や共有等を進めている。

### 今後の施策展開イメージ（Act）



# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策2

### 自立して暮らす

#### 福祉サービス

#### 相談支援



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 市域の南北にある「基幹相談支援センター」やそれぞれの障害種別を担当する「委託相談支援事業所（8か所）」などで、障害の特性などに配慮したきめ細やかな相談支援を行います。また、福祉サービスを利用するすべての人に、個別の利用計画を作成します。

### これまでの成果・課題（Do・Check）

- ▶ 利用計画の作成については、未作成者が特に多い「知的障害（日中系サービス利用者）」を主な支援対象とする委託相談支援事業所を確保し、作成数の増加に繋げている。また、基幹相談支援センターを中心に指定事業所への助言や障害種別・利用サービス別の作成状況等を考慮した依頼を進めて作成数は増加しているが、特に児童の支給決定者数が大幅に増加しているため、作成率は令和3年11月末時点で78.36%（5,352人/6,830人）に留まっている。

### 今後の施策展開イメージ（Act）

- ▶ 計画相談の一層の推進に加え、複合的課題を抱えるケース支援に向けた「重層的支援体制」の整備・運用に向けて、相談支援状況（支援困難ケースとその対応状況）の整理を進める。
- ▶ 本市の「地域生活支援拠点」が持つ機能の更なる充実・強化に向けて、各機能を担う支援機関（委託相談支援事業所・みのり・リレなど）との協議・検討を進める。

# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策3

### 育つ・学ぶ

療育

教育



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 療育や訓練を行うサービスの充実や、児童発達支援センター「あこや学園」・「たじかの園」などで発達相談や療育指導などを行います。また、医療的ケアが必要な子どもの退院後の生活を支援します。

### これまでの成果・課題（Do・Check）

- ▶ 障害児通所支援の利用が大幅に増加する中、「いくしあ」から療育機関への円滑な引継ぎや連携を進めるため、部会を開催して連携フローや事業所リスト等をまとめた。依然としてサービス利用は増加傾向にあり、学校と事業所間での十分な連携が図れていない事例等も出ている。また、医療的ケア児への支援については、本市の医療的ケア児等コーディネーターが中心となり、当該ケア児のリスト管理や居宅訪問等を進めて、生活状況等の把握を進めた。

### 今後の施策展開イメージ（Act）

- ▶ 障害のある児童への療育や通所サービスなど、地域における支援状況や課題の把握・共有や支援機関、サービス事業所、行政（障害福祉・子ども・教育・保健など）間のネットワークを強化していくため、障害児通所支援の指定事業所ネットワーク会議の設置を検討していく。
- ▶ 医療的ケア児支援部会において、現行の支援体制・状況や地域課題についての協議を進める。

# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策4

働く

雇用

就労



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 市役所において、障害のある人の雇用や就労に向けた実習（チャレンジ事業）を行います。
- ▶ 障害者就労施設の製品などの紹介（ジョブリンクamaの活用など）や販売会（尼うえるフェアなど）を行います。また、企業からの仕事を施設につなげます。

### これまでの成果・課題（Do・Check）

- ▶ 市役所での障害者雇用については、「チャレンジ事業」で7人を実習雇用するほか、本市版チャレンジ雇用「ハートフルオフィスup×3」で6人を雇用し、庁内業務の進捗アップ等に取り組んだ。また、障害者就労施設の販路拡大に向けては、コロナ禍で企業イベントの中止が多かったため、庁内販売「尼うえるフェア」を計●回（小規模販売会を含む）開催するほか、共同受注の支援により、発注企業（●社・●件）から●施設への契約に結び付けた。

### 今後の施策展開イメージ（Act）



# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策5

### 住まう・出かける

#### 生活環境

#### 移動・交通



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 障害のある人の住まいを確保するため、利用ニーズにあわせたグループホームの整備を進めます。また、「リレくらしサポートセンター」でグループホームなどの利用支援や介護者の急病などによる緊急時の受け入れを行うなどして、地域での生活を支えます。

### これまでの成果・課題（Do・Check）

- ▶ グループホームの整備促進に向けては、新規開設サポート事業を実施して6ホーム（定員25人）に開設経費の一部を助成するほか、今後の整備方策を検討するため、前年度の利用者向けアンケートに加えて、令和3年度は市内事業所への意向調査を実施した。また、障害のある人の重度化・高齢化に対応する「日中サービス支援型グループホーム」の市内整備については、コロナ禍で従来の予定からは遅れたものの、令和4年4月に開設し運用が開始される。

### 今後の施策展開イメージ（Act）



# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策6

## 地域でつながる

## 生涯学習活動



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 「身体障害者福祉会館」の移転にあわせて、障害のある人が使いやすい施設に改修します。また、併設する「身体障害者福祉センター」と一緒に、より参加・活動しやすい事業（創作活動や教養講座、自主活動など）の運営などに取り組みます。

### これまでの成果・課題（Do・Check）

- ▶ 「身体障害者福祉会館」の移転に向けては、当該会館と身体障害者福祉センターの指定管理者との個別協議や3者検討会議を適宜開催し、障害特性に配慮した各種バリアフリー改修を行うとともに、情報支援に係る機器等を設置することで、それら施設機能を活用した情報・コミュニケーション支援の今後の取組等について、協議・調整を進めた。

### 今後の施策展開イメージ（Act）



# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）



## 基本施策 7

### 安全に暮らす

#### 安全・安心



### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 障害のある人など災害時に支援が必要な人の名簿の活用や、特に配慮が必要な人への個別の避難行動計画の作成に向けた取組を進めます。また、避難所の充実や地域のさまざまな関係者との災害支援の連携を進めていきます。

### これまでの成果・課題（Do・Check）



### 今後の施策展開イメージ（Act）



# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

## 基本施策 8

### お互いを認め合う

権利擁護

啓発

差別の解消



#### 市が取り組むこと（Plan）

- ▶ 「市民福祉のつどい（ミーツ・ザ・福祉）」の開催などさまざまな啓発活動を行い、障害や障害のある人の理解につなげます。また、「障害者差別解消支援地域協議会」で、地域の差別事例やその解消に向けた取組、啓発の方法などについて話し合います。

#### これまでの成果・課題（Do・Check）



#### 今後の施策展開イメージ（Act）



# 尼崎市障害者計画に係る今後の施策展開イメージ（フレーム案）

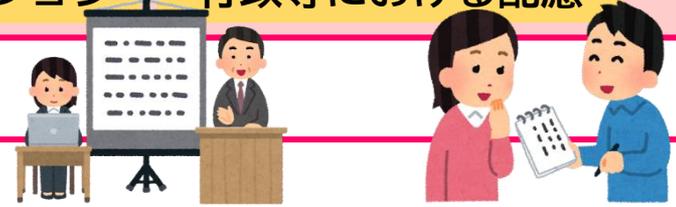
## 基本施策9

### 伝える・知る

### 情報・コミュニケーション

### 行政等における配慮

#### 市が取り組むこと（Plan）



- ▶ 手話や要約筆記など意思疎通支援者の派遣と養成を継続的に実施し、支援の充実につなげます。また「手話言語条例施策推進協議会」で、手話の理解・普及などについて話し合います。
- ▶ 「身体障害者福祉センター」などにおいて、点字や手話、パソコン、スマートフォンなど情報支援に関する各種講座などを開催します。

#### これまでの成果・課題（Do・Check）



#### 今後の施策展開イメージ（Act）

- ▶ 意思疎通支援者（手話通訳・要約筆記など）の派遣（謝礼）単価の引き上げなど処遇面の向上について検討を進めていく。
- ▶ 新たな身体障害者福祉会館の機能を活用した情報支援に関する各種講座等の充実を進める。